

令和5年度神奈川県救急医療功労者表彰 受賞者功績一覧

計11名（病院2、個人9）

◇名称・氏名（所在地・主な活動地域）

（敬称略）

いりょうほうじんせいえいかい こうほくびょういん ◇ 医療法人正永会 港北病院 （横浜市保土ヶ谷区）	平成4年から神奈川県精神科病院協会輪番事業に参加し、措置入院患者の受入れを積極的に継続するとともに、神奈川県の精神科救急体制の一翼として、救急患者の受入れを行うなど、県内および地域の精神科医療に大きく貢献した。
いりょうほうじんしゃだんほうゆうかい しょうなんいずみびょういん ◇ 医療法人社団鵬友会 湘南泉病院 （横浜市泉区）	平成8年から横浜市病院群輪番制事業に参加し、直近10年間で救急患者延べ12,260名を受け入れ、救急医療に多大な貢献をした。
おかむら たけひろ ◇ 岡村 健弘 （横浜市旭区）	平成19年より神奈川県歯科医師会の理事、平成21年より警察歯科医会の常任幹事及び副会長として、平成27年までの間、救急歯科医療体制の充実に尽力した。また、神奈川県歯科医師会では救急医療委員会の担当役員として、災害時行動計画を中心となり取りまとめるなど、救急歯科医療体制の確立に貢献した。
しばた ひろあき ◇ 柴田 宏明 （横浜市緑区）	平成5年に横浜市緑区に医療法人社団宏仁会柴田整形外科を開業して以来、地域医療に精励し、地域住民の保健衛生に貢献した。また、緑区休日急患診療所の協力医として、平成5年から地域の休日初期救急診療に貢献した。
やすだ ひでとし ◇ 安田 秀俊 （横浜市瀬谷区）	昭和63年に横浜市瀬谷区に安田整形外科を開業して以来、地域医療に精励し、地域住民の保健衛生に貢献した。また、瀬谷区休日急患診療所の協力医として、平成6年から令和元年まで地域の休日初期救急診療に貢献した。
おおの かつゆき ◇ 大野 勝之 （横浜市都筑区）	平成4年に横浜市都筑区に医療法人社団大野クリニックを開業して以来、地域医療に精励し、地域住民の保健衛生に貢献した。また、都筑区休日急患診療所の協力医として、平成7年から令和4年まで地域の休日初期救急診療に貢献した。
なかだ まさひろ ◇ 中田 雅弘 （川崎市宮前区）	20年以上の永きにわたり、川崎市宮前休日急患診療所、川崎市多摩休日夜間急患診療所及び川崎市北部小児急病センターに勤務され、地域の初期救急医療に貢献した。また、新型コロナウイルス感染症発生初期より、川崎市のコロナ入院調整業務及び神奈川モデルの輪番医に参加するほか、宮前区医師会会長として、休日急患診療所での発熱外来の開設や検査を行うための環境整備に尽力した。
すなおし わたる ◇ 砂押 渉 （相模原市緑区）	相模原市から受託している休日夜間急病診療事業に積極的に協力し、開業以来19年余りにわたり市民の生命と健康を守るべく尽力している。また、相模原市医師会小児科医会副会長、会長を歴任し、永きにわたり、知識の向上や地域医療・小児医療の充実に貢献した。
やました こうへい ◇ 山下 晃平 （横須賀市）	横須賀市消防局とともにJPTEC講習会を開催するなど、若手医師や救急救命士の教育指導に努め、地域の救急医療体制向上に貢献した。また、平成23年より横須賀市医師会の理事として、救急・災害を担当し、地域の救急医療体制の構築に尽力した。
なかむら ちさと ◇ 中村 千里 （平塚市）	平塚市休日・夜間急患診療所の協力医として、平成7年から地域の休日初期救急診療に貢献している。また、平成25年より平塚市医師会の副会長として、救急医療や災害対応等を担当し、地域の救急医療体制の充実に貢献した。
せきみず まさゆき ◇ 関水 正之 （大和市）	大和市地域医療センター休日夜間急患診療所の協力医として、平成13年から地域の休日初期救急診療に貢献している。また、大和市医師会の副会長として、救急を担当し、一次救急医療である大和市地域医療センター休日夜間急患診療所の円滑な運営に尽力した。